

I. 調査の概要

1. 目的

市民の日常生活について意識と行動の両面からとらえ、横浜市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的とする。

2. 構成

ほぼ毎年継続して質問する項目と、行政課題に対して、市民から回答を得る必要性が生じて各年度毎に設定する項目から構成する。

3. 仕様

- (1) 調査地域 横浜市全域
- (2) 調査対象 横浜市内に居住する満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,200 標本 (1 地点 11~18 標本、210 地点)
- (4) 抽出方法 住民基本台帳をフレームとし、日本人は層化二段無作為抽出法、外国籍市民は単純無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送留置、訪問回収
(調査票を郵送し、後日、調査員による個別訪問を行い、調査票を回収する)
- (6) 調査時期 令和元年 5 月 24 日～6 月 10 日
- (7) 実査、集計、分析 一般社団法人輿論科学協会

4. 項目

- (1) 【市政】 市政への満足度、市政への要望、市政全体への満足度、満足度と要望のまとめ
- (2) 【定住意識】 現住地居住年数、前住地、現住地定住意向、希望する転居先
- (3) 【暮らしやすさ】 周辺環境の総合評価、暮らしやすいと感じている点、周辺環境で特に重視する点、住まいに関する価値観
- (4) 【生活意識】 生活満足度、項目別生活満足度、心配ごとや困っていること
- (5) 【日々の食事】 食事の内容、食事を共にする人、日々の食事のまとめ
- (6) 【隣近所・地域とのつき合い】 隣近所とのつき合い方、隣近所とのつき合いの感じ方、参加している地域活動、地域との関わり

5. 回収結果

(1) 回収分析標本数 2,052 標本 (回収率 64.1%)

(2) 未回収標本内訳

合計	転居	長期不在	一時不在	住所不明	調査拒否	その他
1,148	51	46	425	39	558	29
100.0% (35.9%)	4.4% (1.6%)	4.0% (1.4%)	37.0% (13.3%)	3.4% (1.2%)	48.6% (17.4%)	2.5% (0.9%)

()は、設計 3,200 標本に対する比率

6. 集計方法

単純集計と以下の項目別クロス集計を行った。

区別 (18 区別)、ブロック別 (4 ブロック)、年齢別、性・年齢別、ライフステージ別、世帯類型別 クロス集計

7. 報告書の見方

(1) n は質問に対する回答者数で、100% が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

(2) 層化二段無作為抽出法を用いた場合の標本誤差 (サンプル誤差) は、信頼度を 95% としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数 (n)、および回答比率 (P) によって異なる。

$$b = 2 \times \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

< 標本誤差早見表 >

回答比率 (P) 基数 (n)	10% または 90% 前後	20% または 80% 前後	30% または 70% 前後	40% または 60% 前後	50% 前後
2,052 人	± 1.87	± 2.50	± 2.86	± 3.06	± 3.12
2,000 人	± 1.90	± 2.53	± 2.90	± 3.10	± 3.16
1,000 人	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
500 人	± 3.79	± 5.06	± 5.80	± 6.20	± 6.32
100 人	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

< 標本誤差早見表の見方 >

例えば、「ある設問の回答者数が 2,052 であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60% であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも 3.06% 以内 (56.94~63.06) である」とみることができる。

ただし信頼度が 95% であるので、そのように判断することは 95% の確率で正しいことになる。

(3) 質問には、全員が 1 つの回答を選ぶもののほか、前問で特定の回答とした一部の回答者のみに対して続けて行う質問と 1 回答者が 2 つ以上の回答をすることができる質問がある。2 つ以上を回答する質問では、回答者の合計を回答者数 (n) で割った比率であり、通常その値は、100% を超える。

(4) 結果数値は、表章単位未満 (小数第二位) を四捨五入してあるので、内訳の合計が計 (100.0%) に一致しないこともある。

8. 回収分析標本構成

(1) 区別

	実数	割合 (%)
全体	2,052	100.0
鶴見区	167	8.1
神奈川区	137	6.7
西区	45	2.2
中区	69	3.4
南区	100	4.9
港南区	127	6.2
保土ヶ谷区	102	5.0
旭区	129	6.3
磯子区	92	4.5
金沢区	130	6.3
港北区	175	8.5
緑区	87	4.2
青葉区	159	7.7
都筑区	117	5.7
戸塚区	178	8.7
栄区	72	3.5
泉区	90	4.4
瀬谷区	76	3.7

(2) ブロック別

	実数	割合 (%)
全体	2,052	100.0
東部	518	25.2
西部	575	28.0
南部	421	20.5
北部	538	26.2

※ブロック別の構成は、以下のとおりである。

東部：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区

西部：保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区

南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区

北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区

(3) 性・年齢別

	調査結果		市全体（平成31年3月31日現在）	
	実数	割合 (%)	人口 (人)	構成比 (%)
全体	2,052	100.0	3,185,604	100.0
18～29歳	230	11.2	475,777	14.9
(18～19歳)	29	1.4	71,826	2.3
30代	228	11.1	458,844	14.4
40代	387	18.9	611,981	19.2
50代	349	17.0	528,764	16.6
60代	327	15.9	424,203	13.3
70歳以上	531	25.9	686,035	21.5
(80歳以上)	186	9.1	272,684	8.6
男性計	923	45.0	1,572,572	49.4
18～29歳	106	5.2	243,407	7.6
(18～19歳)	12	0.6	36,658	1.2
30代	105	5.1	235,149	7.4
40代	174	8.5	311,531	9.8
50代	169	8.2	274,912	8.6
60代	146	7.1	212,200	6.7
70歳以上	223	10.9	295,373	9.3
(80歳以上)	70	3.4	104,079	3.3
女性計	1,129	55.0	1,613,032	50.6
18～29歳	124	6.0	232,370	7.3
(18～19歳)	17	0.8	35,168	1.1
30代	123	6.0	223,695	7.0
40代	213	10.4	300,450	9.4
50代	180	8.8	253,852	8.0
60代	181	8.8	212,003	6.7
70歳以上	308	15.0	390,662	12.3
(80歳以上)	116	5.7	168,605	5.3

(注) 市全体の人口は、横浜市年齢別男女別人口（住民基本台帳登録者数）による。

(4) ライフステージ

本調査においては各ライフステージとして、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合 (%)	内容	具体例
全 体		2,052	100.0		
子どもなし (計)		571	27.8		
1 単身 (1)		225	11.0	40歳未満・独身	未婚者(40歳未満) 配偶者離死別(40歳未満)
2 単身 (2)		137	6.7	40～64歳・独身	未婚者(40～64歳) 配偶者離死別(40～64歳)
3 夫婦だけ (1)		42	2.0	40歳未満・子のない夫婦	有配偶者・子どもなし(40歳未満)
4 夫婦だけ (2)		98	4.8	40～64歳・子のない夫婦	有配偶者・子どもなし(40～64歳)
5 高齢子どもなし		69	3.4	65歳以上・子どもなし	未婚者(65歳以上) 配偶者離死別・子どもなし(65歳以上) 有配偶者・子どもなし(65歳以上)
子どもあり (計)		1,364	66.5		
6 家族形成期		122	5.9	小学校入学前の乳幼児を持つ親	第一子が小学校入学前
7 家族成長前期		131	6.4	小学生の子を持つ親	第一子が小学生
8 家族成長中期		133	6.5	中学生・高校生の子を持つ親	第一子が中・高校生
9 家族成長後期		95	4.6	各種学校・専修・専門学校・短大・大学生・大学院生の子を持つ親	第一子が大学生等
10 家族成熟前期		71	3.5	学校教育を終えた子を持つ親	第一子が学校教育終了、末子が教育期
11 家族成熟中期		238	11.6	子どもが全員独立している65歳未満の親	子が全員独立した親・65歳未満
12 家族成熟後期		574	28.0	子どもが全員独立している65歳以上の親	子が全員独立した親・65歳以上
その他		117	5.7	1～12以外、分類不能	1～12以外

複数の子どもがいる場合は、第一子の状況をもとに「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、「9 家族成長後期」又は「10 家族成熟前期」の分類をする。ただし、「10 家族成熟前期」については、第一子が学校教育を終了し、かつ末子が教育期のものとする。

<ライフステージとその構成条件>

ライフ ステージ		質問、項目名 選択肢名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	そ
			単 身 (1)	単 身 (2)	夫 婦 だ け (1)	夫 婦 だ け (2)	高 齢 子 ども なし	家 族 形 成 期	家 族 成 長 前 期	家 族 成 長 中 期	家 族 成 長 後 期	家 族 成 熟 前 期	家 族 成 熟 中 期	家 族 成 熟 後 期	の 他
F5 子 ども	な あ	し り	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
F2 年 齢	40 歳 未 満 40 歳 ~ 64 歳 65 歳 以 上		○		○								○		
F4 未 ・ 既 婚	未 婚 既 婚 ・ 有 配 偶 者 既 婚 ・ 配 偶 者 離 死 別		○	○		○	○	○							
F5 子 ども の 成 長 段 階	小 学 校 入 学 前 小 学 校 在 学 中 中 学 校 在 学 中 高 校 在 学 中 各 種 ・ 専 修 ・ 専 門 学 校 在 学 中 短 大 ・ 大 学 ・ 大 学 院 在 学 中 学 校 教 育 終 了 未 婚 ・ 同 居 未 婚 ・ 別 居 既 婚 ・ 同 居 既 婚 ・ 別 居							○		○		◎			

- (注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、
「9 家族成長後期」の○印は、子どもが複数いる場合は、第一子の状況とする。
- (注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「10 家族成熟前期」は、◎印及び○印がそれぞれ1つ以上あることを
条件とする。
- (注3) その他は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があつて、1～12以外のもの及び分類不
能なものである。

(5)世帯類型

本調査においては各世帯類型として、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合 (%)	内容	具体例
全 体		2,052	100.0		
1 ひとり暮らし (1)		47	2.3	40歳未満・ひとり暮らし	未婚者(40歳未満) 配偶者離死別(40歳未満)
2 ひとり暮らし (2)		85	4.1	40～64歳・ひとり暮らし	未婚者(40～64歳) 配偶者離死別(40～64歳)
3 ひとり暮らし (3)		146	7.1	65歳以上・ひとり暮らし	未婚者(65歳以上) 配偶者離死別(65歳以上)
4 夫婦のみ (1)		145	7.1	夫婦二人暮らし・子なし	有配偶者・子どもなし
5 夫婦のみ (2)		342	16.7	夫婦二人暮らし・子が全員独立している	有配偶者・子が全員独立
6 子と同居 (1)		474	23.1	教育期の子と同居している親	有配偶者・学校教育期の子と同居
7 子と同居 (2)		289	14.1	学校教育を終えた子と同居している親	有配偶者・学校教育終了後の子と同居
8 親と同居 (1)		152	7.4	40歳未満・子なしで親と同居	未婚者(40歳未満)で親と同居 有配偶者(40歳未満)・子なしで親と同居
9 親と同居 (2)		71	3.5	40歳以上・子なしで親と同居	未婚者(40歳以上)で親と同居 有配偶者(40歳以上)・子なしで親と同居
10 祖父母と親と子		117	5.7	本人の親と子どもなど、3世代で同居	有配偶者・子と同居・親と同居(3世代)
その他		184	9.0	1～10以外、分類不能	1～10以外

「6 子と同居 (1)」については、学校教育を終えた子どもの有無は問わず、教育期の子どもがいればこれに該当する。「7 子と同居 (2)」は、学校教育を終えた子どものみとする。

<世帯類型とその構成条件>

世帯類型 質問、項目名 選択肢名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		ひとり暮らし (1)	ひとり暮らし (2)	ひとり暮らし (3)	夫婦のみ (1)	夫婦のみ (2)	子と同居 (1)	子と同居 (2)	親と同居 (1)	親と同居 (2)	祖父母と親と子 子	その他
F6家族 形態	ひとり暮らし 夫婦だけ 親と子(2世代)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
	祖父母と親と子 (3世代)										○	
F5子ども 成長段階	子どもはいない				○				○	○		
	小学校入学前					○	○					
	小学校在学中					○	○					
	中学校在学中					○	○					
	高校在学中					○	○					
	各種・専修・専門 学校在学中					○	○					
学校教育 終了	未婚・同居							○				
	未婚・別居					○						
	既婚・同居							○				
	既婚・別居					○						
F2年齢	40歳未満	○							○			
	40歳～64歳		○							○		
	65歳以上			○						○		

(注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6子と同居(1)」は、○印が1つ以上あることを条件とし、学校教育を終えた子どもの有無は問われない。「7子と同居(2)」は学校教育を終えた子どものみとする。

(注2) その他は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があつて、1～10以外のもの及び分類不能なものである。

(6) 出生地

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,052	100.0
横浜生まれ		659	32.1
横浜以外		1,360	66.3
無回答		33	1.6

(7) 未・既婚

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,052	100.0
既婚 (計)		1,609	78.4
有配偶		1,321	64.4
離死別		288	14.0
未婚		433	21.1
無回答		10	0.5

(8) 共働き状況 n=既婚(有配偶者)

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		1,321	100.0
共働きしている		596	45.1
共働きしていない		712	53.9
無回答		13	1.0

(9) 職業

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,052	100.0
有職者 (計)		1,210	59.0
自営業		148	7.2
管理職		106	5.2
専門技術職		164	8.0
事務職		362	17.6
現業職		430	21.0
無職者 (計)		824	40.2
主婦・主夫		341	16.6
学生		71	3.5
無職		412	20.1
無回答		18	0.9

(10) 就業形態 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		1,062	100.0
会社役員		52	4.9
正社員・正規職員		573	54.0
アルバイト・パート		278	26.2
派遣社員		40	3.8
契約社員・嘱託社員		99	9.3
その他		4	0.4
無回答		16	1.5

(11) 勤務地 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		1,062	100.0
居住区内		252	23.7
市内他区		332	31.3
川崎市		70	6.6
川崎市を除く県内の 他市町村		84	7.9
東京都区部		276	26.0
東京都区部を除く東 京都		12	1.1
千葉県		3	0.3
埼玉県		3	0.3
その他		9	0.8
無回答		21	2.0

(12) 住居形態

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,052	100.0
持家 (一戸建て)		899	43.8
持家 (マンション・共同住宅)		662	32.3
借家 (一戸建て)		42	2.0
借家 (県営・市営の 共同住宅)		47	2.3
借家 (都市再生機構 (旧公 団)・公社の共同住宅)		45	2.2
借家 (社宅・公務員住宅)		43	2.1
借家 (民間アパート、民間 賃貸マンション)		280	13.6
その他		14	0.7
無回答		20	1.0

(13) 鉄道路線

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,052	100.0
横浜線		175	8.5
東横線		113	5.5
田園都市線		151	7.4
根岸線		172	8.4
相鉄線		294	14.3
東海道線北部		171	8.3
東海道線南部		210	10.2
京浜急行線		282	13.7
市営地下鉄線北部		210	10.2
市営地下鉄線南部		197	9.6
その他・不明		77	3.8

(注)・東横線:「東横線」「みなとみらい線」

- ・東海道線北部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区、「京浜東北線」、「京浜急行線」のうちの鶴見区、「南武線」、「鶴見線」
- ・東海道線南部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区以外
- ・京浜急行線:「京浜急行線」のうちの鶴見区以外、「金沢シーサイドライン」
- ・市営地下鉄線北部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区
- ・市営地下鉄線南部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区以外

9. 調査票と単純集計結果

『横浜市民意識調査』 調査票

[%の基数表示の無いものは、n=2,052]

【定住意識】 まず、お住まいのご様子についてお尋ねします。

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(○は1つ)

1.9	65年以上前〔昭和29年(1954年)以前〕	
3.3	55～64年前〔昭和30～39年(1955～1964年)〕	
7.1	45～54年前〔昭和40～49年(1965～1974年)〕	
9.5	35～44年前〔昭和50～59年(1975～1984年)〕	
13.1	25～34年前〔昭和60～平成6年(1985～1994年)〕	
21.1	15～24年前〔平成7～16年(1995～2004年)〕	
11.4	10～14年前〔平成17～21年(2005～2009年)〕	
13.9	5～9年前〔平成22～26年(2010～2014年)〕	
18.3	5年未満〔平成27年(2015年)以降〕	0.5 (無回答)

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(○は1つ)

5.6	生まれてからずっと現住所に住んでいる	5.8	川崎市を除く県内の他市町村
29.6	今住んでいるのと同じ区内	8.8	東京都区部
30.8	横浜市内の別の区	2.6	東京都区部を除く東京都内
5.7	川崎市	10.3	そのほかの道府県・国外
			0.8 (無回答)

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

33.2	住み続ける	12.2	たぶん転居する	16.5	わからない
31.6	たぶん住み続ける	5.1	転居する		1.5 (無回答)
	↓				↓
	3ページ 問4へ				3ページ 問4へ

(問3で「3」または「4」と答えた方に)

---> 問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(○は1つ) (n=355)

12.4	同じ区内	28.5	横浜市内	24.5	横浜市以外	33.5	具体的にはわからない
							1.1 (無回答)

【暮らしやすさ】次に、お住まいの周辺の環境などについてお尋ねします。

問4 今のお住まいや周辺の環境をどのように感じていますか。(○は1つ)

41.6	暮らしやすい	13.0	どちらともいえない	2.0	暮らしにくい
38.3	どちらかという暮らしやすい	4.1	どちらかという暮らしにくい	1.0	(無回答)

問5 今のお住まいの周辺の環境で、暮らしやすいと感じているのはどのような点ですか。

(○はいくつでも)

51.8	周辺の静かさ	
33.7	緑や自然やオープンスペースの豊かさ	
16.5	街並みなどの景観の良さ	
10.6	保育所や公園などの子育ての環境の良さ	
10.3	学校、図書館など教育・学習環境の良さ	
16.2	近所づき合いのしやすさ	
51.2	交通・通勤などの便利さ	
29.8	病院・医院の近さ	
46.0	ふだん買い物をする場所の近さ	
20.1	飲食やショッピングの便利さ	
8.6	遊びや余暇活動の便利さ	
14.9	防災・防犯などの安心さ	
1.4	その他(具体的に)
5.7	特にない	1.1(無回答)

問6 仮に、今のお住まいから転居するとしたら、新しいお住まいの周辺の環境で、特に重視するのはどのような点ですか。(○は3つまで)

26.9	周辺の静かさ	
15.8	緑や自然やオープンスペースの豊かさ	
8.7	街並みなどの景観の良さ	
5.6	保育所や公園などの子育ての環境の良さ	
6.1	学校、図書館など教育・学習環境の良さ	
7.4	近所づき合いのしやすさ	
54.9	交通・通勤などの便利さ	
28.8	病院・医院の近さ	
41.9	ふだん買い物をする場所の近さ	
12.9	飲食やショッピングの便利さ	
3.6	遊びや余暇活動の便利さ	
17.1	防災・防犯などの安心さ	
1.7	その他(具体的に)
2.4	特にない	12.2(無回答)

問7 住まいに関する次のような意見について、あなたはどのように思いますか。当てはまるものをお選びください。（○はそれぞれ1つ）

	そ う 思 う	そど ち う ら か と 思 い え う ば	いど ち え ら な と い も	そど ち う ら 思 か わ と い な え い ば	そ う 思 わ な い	無 回 答
(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい	9.2	20.4	26.9	18.6	23.0	2.0
(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい	4.9	6.7	30.0	19.0	37.5	2.0
(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい	25.1	16.3	32.0	10.0	14.6	1.9
(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい	6.9	15.8	37.8	19.0	18.7	1.8
(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ	54.3	33.4	8.1	1.5	1.3	1.4

【生活意識】次に、生活の満足度や心配ごとなどについてお尋ねします。

問8 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(○は1つ)

22.2	満足しているほう	8.4	やや不満があるほう
47.0	まあ満足しているほう	3.6	不満があるほう
14.2	どちらともいえない		4.6 (無回答)

問9 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(○はそれぞれ1つ)

	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満がある	不満がある	無回答
(ア) 住まい	26.2	50.1	12.6	6.6	3.5	1.0
(イ) 自由に過ごせる時間	27.0	42.0	15.5	9.9	4.2	1.4
(ウ) 仕事・学業	12.7	31.9	31.5	8.7	4.5	10.7
(エ) 収入	7.5	27.9	33.3	18.8	9.6	2.9
(オ) 健康	15.3	41.8	24.4	12.3	4.6	1.7
(カ) 家族との関係	36.4	41.2	14.3	4.0	1.7	2.3
(キ) 友人や近隣とのつき合い	16.4	44.0	32.4	4.1	1.4	1.7

問10 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

50.2	自分の病気や健康、老後のこと	4.1	近隣からの悪臭・騒音
36.7	家族の病気や健康、生活上の問題	3.5	環境問題
7.4	失業・倒産や収入が減ること	10.9	事故や災害のこと
12.5	仕事や職場のこと	8.7	犯罪や防犯のこと
23.0	景気や生活費のこと	8.7	住宅のこと
11.8	子どもの保育や教育のこと	2.7	その他(具体的に)
6.8	子どもの結婚や就職のこと	14.5	心配ごとや困っていることはない
			3.9 (無回答)

【市 政】市の行政などについてお尋ねします。

問 11 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

(○はいくつでも)

- 49.0 バス・地下鉄などの便
- 14.3 幹線道路や高速道路の整備
- 16.9 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
- 2.9 違法駐車防止や交通安全対策
- 3.4 駐車場の整備
- 20.4 最寄り駅周辺の整備
- 5.5 都心部の整備や魅力づくり
- 12.2 街並みや景観の形成や保全
- 4.4 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
- 6.0 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興
- 0.9 中小企業振興や雇用の創出
- 2.8 商店街の振興
- 2.0 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
- 15.6 公園・動物園の整備
- 17.1 緑の保全と緑化の推進
- 6.6 河川改修と水辺環境の整備
- 7.3 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
- 24.9 良質な水の確保や安定供給
- 2.3 環境汚染や騒音などへの対策
- 35.5 ごみの分別収集、リサイクル
- 6.3 ごみの不法投棄対策や街の美化
- 1.9 地球温暖化への対策
- 4.4 地震などの災害対策
- 5.0 防犯対策
- 2.8 食品衛生・環境衛生の監視・指導
- 1.0 訪問販売などに関する消費生活相談
- 4.5 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
- 3.4 学校教育の充実
- 1.3 青少年の健全育成
- 15.1 病院や救急医療など地域医療
- 10.9 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）
- 6.6 高齢者福祉
- 3.4 障害者福祉
- 1.9 経済的に困っている人の保護や支援
- 1.4 公的住宅の整備や住宅取得への融資
- 13.4 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
- 6.6 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
- 5.3 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
- 1.9 国際交流・協力の推進
- 3.2 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
- 0.7 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
- 5.5 身近な住民窓口サービス
- 0.4 その他（具体的に
- 14.5 わからない

3.4（無回答）

問 12 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- 25.2 バス・地下鉄などの便
- 7.2 幹線道路や高速道路の整備
- 26.3 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
- 17.9 違法駐車防止や交通安全対策
- 10.7 駐車場の整備
- 20.8 最寄り駅周辺の整備
- 5.4 都心部の整備や魅力づくり
- 13.0 街並みや景観の形成や保全
- 3.4 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
- 2.6 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興
- 8.7 中小企業振興や雇用の創出
- 17.7 商店街の振興
- 6.7 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
- 9.1 公園・動物園の整備
- 16.9 緑の保全と緑化の推進
- 8.5 河川改修と水辺環境の整備
- 10.5 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
- 14.8 良質な水の確保や安定供給
- 12.1 環境汚染や騒音などへの対策
- 14.2 ごみの分別収集、リサイクル
- 18.9 ごみの不法投棄対策や街の美化
- 18.0 地球温暖化への対策
- 31.0 地震などの災害対策
- 28.3 防犯対策
- 9.5 食品衛生・環境衛生の監視・指導
- 4.7 訪問販売などに関する消費生活相談
- 17.5 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
- 16.6 学校教育の充実
- 9.9 青少年の健全育成
- 28.8 病院や救急医療など地域医療
- 27.1 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）
- 28.3 高齢者福祉
- 14.2 障害者福祉
- 12.9 経済的に困っている人の保護や支援
- 5.7 公的住宅の整備や住宅取得への融資
- 8.8 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
- 10.2 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
- 8.2 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
- 4.2 国際交流・協力の推進
- 3.6 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
- 4.3 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
- 13.0 身近な住民窓口サービス
- 3.5 その他（具体的に
- 8.5 わからない

2.0（無回答）

問 13 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。（○は1つ）

6.6	満足しているほう	7.4	やや不満があるほう	
33.6	まあ満足しているほう	4.4	不満があるほう	
35.1	どちらともいえない	10.4	わからない	2.5（無回答）

【日々の食事】次に、日々の食事の様子についてお尋ねします。

問 14 あなたの普段の朝食、昼食、夕食について、最も多い食事の内容を次の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	主に調理したものを食べる	主に自分又は家族が弁当、パン、惣菜などを食べる	主に買ったものを食べる	主に宅配や出前のものを食べる	（勤務先や通学先の食堂等を含む）	外食をする	左記以外のものを食べる	食べない	無回答
(ア) 朝食（○は1つ）	66.6	18.9	0.7	1.2	2.1	9.7	0.9		
(イ) 昼食（○は1つ）	48.9	22.2	1.4	23.0	1.6	1.9	1.0		
(ウ) 夕食（○は1つ）	85.8	6.6	1.3	4.0	1.0	0.4	1.0		

問 15 あなたは、普段、どなたと食事をしていきますか。朝食、昼食、夕食別に、最も多いものを次の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）
なお、問 14 で「食べない」と回答したのものについては無記入で結構です。

	一人で食べる	家族と一緒に食べる	友人・知人と一緒に食べる	職場の食事と一緒に食べる	左記以外の食事と一緒に食べる	無回答
(ア) 朝食（○は1つ） (n=1,835)	47.8	50.5	0.3	0.8	0.2	0.4
(イ) 昼食（○は1つ） (n=1,993)	43.6	21.1	5.6	28.5	0.8	0.5
(ウ) 夕食（○は1つ） (n=2,024)	24.9	71.7	1.5	1.0	0.5	0.3

【隣近所、地域とのつき合い】次に、隣近所とのつき合いや地域での活動などについてお尋ねします。

問 16 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(○は1つ)

- 14.1 顔もよく知らない
- 49.3 道で会えば挨拶ぐらいする
- 25.9 たまに立ち話をする
- 4.9 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている
- 5.1 困ったとき、相談したり助け合ったりする

0.7 (無回答)

問 17 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(○は1つ)

- 75.9 互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい
- 9.0 人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい
- 11.3 親密な人間関係があって、暮らしやすい
- 1.4 人間関係が濃密で、わずらわしい

2.5 (無回答)

問 18 あなたは、現在、地域でどのような活動に参加していますか。(○はいくつでも)

- 22.0 自治会、町内会の活動
- 5.6 子ども会、婦人会、老人クラブの活動
- 2.1 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動
- 4.5 身近な道路や公園などの清掃活動
- 2.7 文化・芸術活動への参加や振興
- 6.8 スポーツや健康づくりの活動への参加や振興
- 8.8 祭や盆踊り、運動会などのイベント
- 5.1 資源回収やごみの分別、リサイクル活動
- 6.7 PTA活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど
- 2.4 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動
- 1.0 その他 (具体的に)
- 58.9 特にない

1.9 (無回答)

問 19 あなたは、今後、地域の活動に参加するなど、地域の人ともっと親しくしたり、地域との関わりをより深めたいと思っていますか。あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。(○は1つ)

- 2.1 現在、十分に関わりがあるが、もっと深めたい
- 19.8 現在、十分に関わりがあるので、このままでよい
- 3.5 現在、関わりがあるが、もう少し関わりを減らしたい
- 2.2 現在、関わりがあるが、地域との関わりはできるだけ持ちたくない
- 11.4 現在、あまり関わりがないので、もっと深めたい
- 59.6 現在、あまり関わりがないが、このままでよい

1.3 (無回答)

最後に、あなたご自身やご家族のことについてお尋ねします。統計上、必要なものですので、ご記入を
よろしく願います。

【フェイスシート】

F 1 あなたの性別は。(○は1つ) ※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

45.0 男性	55.0 女性
---------	---------

F 2 あなたのお年は何歳ですか。(○は1つ)

1.4 18～19歳	5.8 35～39歳	7.3 55～59歳	7.6 75～79歳
4.9 20～24歳	9.5 40～44歳	7.8 60～64歳	9.1 80歳以上
4.9 25～29歳	9.4 45～49歳	8.1 65～69歳	
5.3 30～34歳	9.7 50～54歳	9.2 70～74歳	

F 3 あなたは横浜生まれですか。(○は1つ)

32.1 はい	66.3 いいえ	1.6 (無回答)
---------	----------	-----------

F 4 あなたは、結婚なさっていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

64.4 既婚(配偶者あり)	14.0 既婚(離別・死別)	21.1 未婚	0.5 (無回答)
----------------	----------------	---------	-----------

(F 4で「1」と答えた方に)

→ F 4-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ) (n=1,321)

45.1 している	53.9 していない	1.0 (無回答)
-----------	------------	-----------

F 5 あなたにお子さんはいますか。いらっしゃる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

27.8 子どもはいない	6.6 短大・大学・大学院在学中	
9.6 小学校入学前	15.3 学校教育終了-未婚-同居	
9.5 小学校在学中	10.4 学校教育終了-未婚-別居	
5.4 中学校在学中	3.3 学校教育終了-既婚-同居	
6.0 高校在学中	26.9 学校教育終了-既婚-別居	
0.8 各種学校、専修・専門学校在学中	1.0 その他(具体的に)	4.7 (無回答)

F 6 お宅の家族形態は、次の中のどれにあたりますか。同居している方のみを対象に当てはまるものをお答えください。(○は1つ)

13.5 一人暮らし	5.7 祖父母と親と子(3世代)
24.2 夫婦のみ	2.4 その他(具体的に)
51.6 親と子(2世代)	2.6 (無回答)

F 7 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

43.8 持家(一戸建て)	2.2 借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)	
32.3 持家(マンション・共同住宅)	2.1 借家(社宅、公務員住宅)	
2.0 借家(一戸建て)	13.6 借家(民間アパート、民間賃貸マンション)	
2.3 借家(県営・市営の共同住宅)	0.7 その他(具体的に)	1.0 (無回答)

F 8 あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものをお答えください。(○は1つ)

7.2	自営業	(農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)	
5.2	管理職	(会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)	
8.0	専門技術職	(勤務医師、研究所研究員、技師など)	
17.6	事務職	(事務職、営業職、教員など)	
21.0	現業職	(生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者)	
16.6	専業主婦・主夫		
3.5	学 生		
20.1	無 職		0.9 (無回答)

(F 8で「2」～「5」と答えた方に)

→ F 8-1 あなたの現在のご職業の雇用形態や従業上の地位は何ですか。(○は1つ) (n=1,062)

4.9	会社役員	26.2	アルバイト・パート	9.3	契約社員・嘱託社員
54.0	正社員・正規職員	3.8	派遣社員	0.4	その他(具体的に)
					1.5 (無回答)

→ F 8-2 あなたの勤務地はどこですか。複数ある場合は、主な勤務地をお答えください。(○は1つ) (n=1,062)

23.7	居住区内	7.9	川崎市を除く県内の他市町村	0.3	千葉県
31.3	市内他区	26.0	東京都区部	0.3	埼玉県
6.6	川崎市	1.1	東京都区部を除く東京都	0.8	その他()
					2.0 (無回答)

→ F 8-3 あなたの普段の通勤時間(片道)はどのくらいですか。複数ある場合は、主な勤務地についてお答えください。(○は1つ) (n=1,062)

31.7	30分未満	30.1	1時間～1時間30分未満	0.9	2時間以上
30.9	30分～1時間未満	5.6	1時間30分～2時間未満	0.7	(無回答)

F 9 お宅の最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれにあたりますか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、最も近いほうをお答えください。(○は1つ)

[注: 複数の鉄道路線が乗り入れるターミナル駅など(例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など)が最寄り駅の場合は、普段利用している路線名を答えてください。普段利用している路線が定かでない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。]

10.4	東海道線・横須賀線	19.8	市営地下鉄線(ブルーライン・グリーンライン)
8.5	横浜線	0.9	南武線
5.0	東横線	0.9	金沢シーサイドライン
7.4	田園都市線・こどもの国線	-	鶴見線
4.8	京浜東北線〔横浜～鶴見〕	0.5	みなとみらい線
8.4	根岸線〔横浜～大船〕	1.4	その他・駅名
15.3	京浜急行線	(具体的に)	
14.3	相鉄線〔本線・いずみ野線〕	0.5	わからない
			1.9 (無回答)

ご協力ありがとうございました。